

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	比較文学特論（後期）	
科目基礎情報							
科目番号	0101			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生産デザイン工学科（機械創造システムコース）			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：プリントを配布する。参考書：授業で随時紹介する。						
担当教員	北原 沙友里						
到達目標							
・文学鑑賞の方法を学び、文学作品を鑑賞および解釈することができる。 ・基礎的な知識を踏まえて、自論を展開することができる。 ・適切な日本語表現で自らの考えを他者に伝えることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	専門的な知識を踏まえて、文学作品が鑑賞できている。			基礎的な知識を踏まえて、文学作品が鑑賞できている。		文学作品の鑑賞ができていない。	
評価項目2	文学作品の鑑賞方法を学んだ上で、古典文学作品と現代文学作品を比較し考察できる。			文学作品の鑑賞方法を学んだ上で、古典文学作品と現代文学作品を比較し考察できない。		文学作品の鑑賞方法が理解できない。	
評価項目3	古典文学作品と現代文学作品を比較をした上で、それについて専門的な知識を駆使して論述することができる。			古典文学作品と現代文学作品を比較をした上で、それについて専門的な知識を駆使して論述することができない。		古典作品と現代文学作品を比較することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	・3stQでは文学作品の比較についての講義を行った上で、「桜」というテーマを取り上げ、古典作品と現代作品で「桜」がどのように扱われてきたのかを講義する。 ・4ndQでは各に『古今和歌集』の和歌を一首、Jポップの歌詞を選んでもらい、それぞれどのように「桜」を詠んでいるのかの比較検討を行う。自身の考えを整理しながら他者の意見を傾聴し、最後に自論の形成を図る。						
授業の進め方・方法	・講義では毎回テーマに沿った資料を配布し、それを参考にしながら進める。 ・講義では資料の解説のほか補足説明もするので、各自で講義内容をノートに記録すること。						
注意点	・講義中に参考文献を適宜紹介するので、できるだけ多くの文献を読むこと。 ・些細なことでもわからないことは自分で調べる、質問をするなど、積極的に解決しようとする事。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	イントロダクション		本講義の概要を理解する。		
		2週	古典における「桜」①		古典の散文作品でどのように桜が扱われてきたのか説明できる。		
		3週	古典における「桜」②		古典の韻文作品でどのように桜が扱われてきたのか説明できる。		
		4週	現代作品における「桜」①		現代小説の中でどのように桜が扱われているのか説明できる。		
		5週	現代作品における「桜」②		現代の歌詞の中でどのように桜が扱われているのか説明できる。		
		6週	レポートワーク		設定したテーマについての必要な資料・情報を収集することができる。 それらを論理的にまとめることができる。		
		7週	まとめ①		6週までの内容をまとめ、日本の文学史における桜のモチーフ性について説明することができる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	プレゼンテーション①		設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。 適切な発表ができる。		
		10週	プレゼンテーション②		設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。 適切な発表ができる。		
		11週	プレゼンテーション③		設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。 適切な発表ができる。		
		12週	プレゼンテーション④		設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。 適切な発表ができる。		
		13週	プレゼンテーション⑤		設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。 適切な発表ができる。		
		14週	プレゼンテーション⑥		設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。 適切な発表ができる。		
		15週	まとめ		14週までの講義や、発表、論考を踏まえて、自説を論述できる。		

		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	
評価割合						
		試験	演習・レポート		合計	
総合評価割合		40	60		100	
基礎的能力		40	60		100	
専門的能力		0	0		0	
分野横断的能力		0	0		0	